## **HP Operations Agent**

ソフトウェア バージョン: 12.00 Windows<sup>®</sup>、HP-UX、Linux、Solaris、AIX オペレーティング システム向 け

## ユーザー ガイド: Health View

ドキュメント リリース日:2015 年 9 月 (英語版) ソフトウェアリリース日:2015 年 9 月



ご注意

### 保証について

HP 製品およびサービスに関する保証は、これらの製品およびサービスに付随する明示的保証書に記載された 内容に限定されます。本文書には、追加の保証を規定している箇所はありません。HP は、本文書に含まれる 技術的または編集上の誤りや遺漏に対して、責任を負わないものとします。

この情報は予告なしに変更されることがあります。

### 法律上の権利の制限について

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータ ソフトウェア、 コンピュータ ソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダの標準商用ライセ ンスに基づいて米国政府にライセンスが付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2010-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe ® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft® および Windows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は The Open Group の登録商標です。

この製品には、汎用圧縮ライブラリ「zlib」インターフェイス (Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler) が含まれます。

謝辞

この製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) 氏によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

この製品には、OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフト ウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)

この製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) 氏によって作成されたソフトウェアが含まれています。

本製品には 'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインタフェースが使用されています。 'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

### ドキュメントの更新情報

本書のタイトルページには、以下の識別情報が含まれています。

- ソフトウェア バージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント リリース日付。ドキュメントがアップデートされるたびに変更されます。
- ソフトウェア リリース日付。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日付を示します。

最新のアップデートを確認したり、ドキュメントの最新エディションを使用しているかどうかを確認したり するには、以下の URL にアクセスしてください。https://softwaresupport.hp.com このサイトでは、HP Passport への登録とサイン インが必要となります。HP Passport ID を登録するには、次の URL にアクセスしてください。https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

または、HPソフトウェアサポートページ上部の登録リンクをクリックしてください。

また、適切な製品サポート サービスをお申し込みいただいた場合は、アップデート版または新版をお送りし ます。詳細は、正規販売代理店にお問い合わせください。

### サポート

次の HP ソフトウェア サポート オンラインの Web サイトにアクセスしてください。

#### https://softwaresupport.hp.com

この Web サイトには HP ソフトウェアの製品、サービス、サポートに関する詳細情報とコンタクト先が示してあります。

HP ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ技術情報を提供しています。ビジネスの管理に必要なインタラクティブな技術サポート ツールに、すばやく効率的にアクセスすることができます。サポート Web サイトを使用することにより、重要なサポート カスタマとして以下のメリットを受けることができま す。

- 興味のある知識に関するドキュメントを検索する
- サポート ケースおよび機能強化要求を提出し追跡する
- ソフトウェアのパッチをダウンロードする
- サポート契約を管理する
- HP サポートの連絡先を調べる
- 利用可能なサービスに関する情報を確認する
- 他のソフトウェア カスタマと議論を始める
- ソフトウェア トレーニングに関して調査し登録する

ほとんどのサポート領域では、HP Passport ユーザーとして登録し、サイン インする必要があります。また、 多くの場合、サポート契約が必要となります。HP Passport ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセス してください。

#### https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

アクセス レベルの詳細については、次の URL にアクセスしてください。

#### https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels

HP Software Solutions Now は、HPSWのソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイト では、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細 なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp です。

## 目次

第1章: はじめに	5
HP Operations Agent Health View のアーキテクチャ	6
ヘルス監視プロセスと監視対象のパラメータ	7
状況パラメータ	7
このドキュメントで使用する名称	10
第2章: HP Operations Agent Health View のインストール	12
サーバー上への HP Operations Agent Health View パッケージのインストール	12
サーバー上の HP Operations Agent Health View 設定を確認	14
ノードへの HP Operations Agent 12.00 のインストールとヘルス監視の有効化	14
ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定の確認	16
HP Operations Agent Health View へのアクセス	16
サポートされているブラウザ	17
サーバーからの HP Operations Agent Health View の削除	17
第3章: HP Operations Agent Health View の設定	19
サーバー上の HP Operations Agent Health View の設定	19
ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定	21
ovconfchg を使用した HP Operations Agent ヘルス監視機能の設定	23
第4章: HP Operations Agent Health View の使用	24
HP Operations Agent ヘルス ダッシュボード ビューの使用のでのののののののののののののののののののののののののののののの	24
HP Operations Agent ヘルス ノード ビューの使用	27
HP Operations Agent ヘルス プロセス ビューの使用	29
第5章: HP Operations Manager からの HP Operations Agent Health View の起動	32
HP Operations Manager for Linux からの HP Operations Agent Health View の起動	32
HP Operations Manager for Windows からの HP Operations Agent Health View の起動	35
第6章: 使用事例	38
第7章: トラブルシューティング	42
第8章: HP Operations Agent Health View のパフォーマンスとサイズの設定	46
テスト環境	46
推奨事項	46
結論	47
ドキュットのフィードバックを送信	40
トキュメノトのノイニトハッンを运信	49

## 第1章:はじめに

HP Operations Agent Health View は、HP Operations Agent の状況の概要を簡単に表示できる状況 監視ツールです。

HP Operations Agent Health View は、特に多数のHP Operations Agent が複数のノードにデプロイされ ている複雑な環境で重要な役割を果たします。たとえば、特定の管理ノード上で、ヘルスまたはポリ シーパラメータのいずれかが失敗したか、またはいずれかのプロセスで問題が発生しても、その管理ノード からアラートやメッセージが受信されない場合があります。

HP Operations Agent Health View を使えば、複数の管理ノードがある複雑な環境に発生した問題を すばやく特定できます。

**注**: HPOM 管理サーバーを Health View サーバーとして設定することも、HPOM 管理サーバー以外のサーバーに HP Operations Agent Health View をインストールすることもできます。

HP Operations Agent Health View には、次の機能があります。

- HP Operations Agent Health View に設定されているすべての HP Operations Agent のヘルスを、統合されたダッシュボードに表示します。
- 各管理ノードにドリルダウンして、使用中のHP Operations Agent プロセスおよびリソースのリストを表示できます。
- 各 HP Operations Agent プロセスにドリルダウンして、状況 およびポリシー パラメータに関連 する問題 を特定 できます。



### ユーザー インターフェイス

## HP Operations Agent Health View のアーキテクチャ

HP Operations Agent Health View は、HP Operations Agent の状況の概要を簡単に表示できる状況 監視ツールです。

HP Operations Agent Health View のアーキテクチャを以下に示します。



HP Operations Agent Health View はサーバーとエージェントの各コンポーネントで構成されています。

サーバー コンポーネントには、稼働中の **HPCS Server プロセス (hpcsrvd)** があります。このプロセス は、環境内で使用可能なノードの詳細を格納するレジストリとして機能します。すべてのノード上で ハート ビート ポーリング (HBP) が有効化され、ノードがその情報を HPCS Server プロセス (hpcsrvd) にプッシュします。

エージェント コンポーネントは情報を収集し、収集した情報を Health View サーバーに提供します。

設定済みのすべてのインターバルで、**アクション エージェント** (opcacta) は AHSCollector (エージェ ント ヘルスとシステム データ コレクタは BBC クライアント プロセスで、設定することはできませ ん) をトリガして、エージェントのヘルス情報を収集します。各サブ エージェントは定義済みのヘル スとポリシー パラメータに基づいて、その状態情報を維持します。AHSCollector はヘルス データに ついて HTTP インターフェイスを介してサブ エージェントに問い合わせます。AHSCollector は収集し たデータに潜在的な問題がないかを分析します。また、失敗したすべてのパラメータに対して、設定 済みの診断コマンドを実行して失敗に対して考えられる原因を探します。AHSCollector は処理した状 態データをエージェント ログ ファイルに保存します。ノード上で実行されている HP Compute Sensor process (hpsensor) は、Health View サーバーにシステム パフォーマンス データと共にこの データを公開します。

**注:** HP Compute Sensor (hpsensor) は、軽量のパフォーマンスおよびログ データ収集プロセスです。

ヘルス監視プロセスと監視対象のパラメータ

HP Operations Agent Health View は、以下の事項に基づいてさまざまなエージェント プロセスのヘル スを監視します。

- ノード ビュー レベルの状態変更通知は、デフォルトで ovc と ovpa の下に一覧されているすべてのプロセスに対して有効になっています。
  - ovcの下に一覧されているプロセスを表示するには、次のコマンドを実行します。
     ovc -status
  - ovpa の下に一覧されているプロセスを表示するには、以下のコマンドを実行します。
    - 。 Windows の場合:perfstat -o
    - UNIX/Linux の場合: ovpa -status perf
- ノードビュー内の実行中のプロセスリストは、param ファイル内の OperationsAgent アプリケー ション設定によって決定されます。実行中のプロセスリストには、エージェント、LCore、perf の 各プロセスが含まれます。
- プロセス ビュー タブでは、ノード ビュー テーブル内の実行中のプロセス リストに一覧されているすべてのプロセスに対して、リソース使用率とパフォーマンス データ テーブルが使用できます。
- プロセス ビュー タブでは、エージェント ヘルス インターフェイスを備えているエージェント プロセスに対して、ヘルス パラメータとポリシー パラメータ テーブルが使用できます (エージェント ヘルス インターフェイスを備えているプロセス リストを表示するには、bbcutil -regを実行します)。
- さらに、一部の perf プロセス (perfd、perfalarm) には、外部収集方法を通じてヘルス パラメータ が実装されています。これらのプロセスはヘルス インターフェイスを備えていません。

状況パラメータ

**状況パラメータ**は、プロセスが実行する内容によってプロセスに定義されたパラメータまたは属性 セットです。

次の表は、各種のエージェント プロセスのパフォーマンスと使用率に影響する状況パラメータの詳 細を示しています。

プロセス	状況パラメータ	パラメータの説明
opcmsga	バッファ ファイル ガーベジ	メッセージ エージェント (opcmsga) は、送信メッ

(メッセージ エージェント)	コレクタ	セージの一時的なストレージとして msgagtdf を 使用します。このストレージはサーバーに接続で きないときにメッセージをバッファするためにも 使用されます。バッファ ファイル ガーベジ コレ クタは不要なメッセージを msgagtdf から削除し ます。		
	サーバーへのメッセージの転 送	このパラメータにより、エージェントはサーバー に対して警告やイベントを転送できます。このパ ラメータが失敗した場合は、エージェントがバッ ファリング モードになります。		
opcacta (アクション エージェント)	アクション要求を読み込む	このパラメータは、アクション エージェントがア クション キューからアクション要求を読み込むこ とができるかどうかを示します。		
	過去 1 時間に失敗したアク ション	アクション エージェント (opcacta) は、自動アク ション、オペレータの操作によるアクション、ス ケジュール済みアクションの起動を担当します。 このパラメータは過去 1 時間に失敗したアクショ ンを示します。		
	過去 1 時間のスケジュール アクション要求の数	このパラメータは過去 1 時間のスケジュール アク ションの総数を示します。		
	過去 1 時間の自動アクション 要求の数	このパラメータは過去 1 時間の自動アクションの 総数を示します。		
oacore (データ コレクタ)	過去 1 時間の合計要求数	oacore は、システム パフォーマンスおよびカス タム データに対する読み取りと書き込みのイン ターフェイスを提供します。このパラメータは過 去 1 時間に処理された要求数を示します。		
	最終モデル更新	oacore は、定義されたモデルに応じて、システム パフォーマンス データとカスタム データの読み 取りおよび書き込みインターフェイスを提供しま す。このパラメータは最後に正常に行われた更新 の日時を示します。		
	データをデータストアに記録 する時刻	oacore は、システム パフォーマンスおよびカス タム データに対する読み取りと書き込みのイン ターフェイスを提供します。このパラメータは データストアにデータを記録する時間を指定しま す。		
opcle (ログ ファイル エン	ログ ファイル処理中	このパラメータは、ログ ファイルの処理の状態を 示します。		

キャプスレー タ)	Windows イベント ログ処理 中	このパラメータは、イベント ログの処理の状態を 示します。さらに、opcle をイベント チャネルに 登録できるかどうかを示します (パラメータ: Windows Event Channel Subscription)。	
	ログ ファイル変換コマンド	opcle がログ ファイルのプリプロセス コマンドを 正しく実行できるかどうかを確認します。	
opcmsgi (メッ セージ イン ターセプタ)	ポリシーの初期化	このパラメータは、opcmsgi が msgi タイプのポ リシーを正しくロードし、必要なフォーマットに 変換できるかどうかを示します。	
	メッセージ インターセプタ キューを読み込む	このパラメータは、opcmsgi がメッセージ イン ターセプタ キュー ファイルを読み込むことがで きるかどうかを示します。	
opctrapi (トラップイン	受信トラップ	トラップ インターセプタ (opctrapi) が受信トラッ プを正しく受信できるかどうかを確認します。	
ターセプタ)	過去 1 時間に受信したトラッ プ	SNMP トラップ インターセプタは、SNMP イベン トを供給するためのメッセージ インターフェイス です。このパラメータは、過去 1 時間に受信した トラップの数を示します。	
	ポリシーをロード中	このパラメータは、トラップ インターセプタ (opctrapi) が SNMP タイプのポリシーを正しく ロードし、必要なフォーマットに変換できるかど うかを示します。	
	SNMP セッション	このパラメータは、トラップ インターセプタ (opctrapi) が SNMP セッションを開いてトラップ を受信できるかどうかを示します。	
opcmona (モニ タ エージェン ト)	データストア接続	このパラメータはデータストアへのモニタ エー ジェント (opcmona) 接続を示します。	
	AdvMon スケジュール アク ション	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) がスケジュール ポリシーに記述されて いるアクションのスケジュールを設定できるかど うかを示します。	
	データストア フィード	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) がカスタム データをデータストアに正 常にフィードできるかどうかを示します。	

	SNMP セッション	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) がセッションを開いて SNMP デーモン に接続できるかどうかを示します。
	SNMP GET	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) が SNMP MIB 情報を取得できるかどう かを示します。
	SNMP WALK	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) が複数の MIB から SNMP 情報を取得で きるかどうかを示します。
	WMI 接続	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) がローカルまたはリモート システムか らデータを収集できるかどうかを示します。
	Perl エンジンの作成	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) が Perl スクリプトを実行するための埋 め込み Perl エンジンをロードできるかどうかを示 します。
	Perl スクリプトの実行	このパラメータは、モニタ エージェント (opcmona) がポリシーを監視またはスケジュール するために埋め込みの Perl スクリプトを実行でき るかどうかを示します。
perfd (リアルタイム	ライセンスのチェック	このパラメータは、perfd のライセンスをチェッ クします。
メトリック ア クセス)	クライアント接続	このパラメータは、cpsh の perfd への接続を示し ます。
perfalarm	ライセンスのチェック	このパラメータは、perfalarm のライセンスを チェックします。

## このドキュメントで使用する名称

このドキュメントでは、以下の名称を使用します。

説明

名称

HP Operations Agent (12.00)

<ovbindir></ovbindir>	<ovbindir> は、このドキュメントで以下の場所を示すのに使用されています。</ovbindir>
	・ Windows の場合:
	• Windows x64 の場合:%OvInstallDir%bin\win64\
	• Windows x86 の場合: %OvInstallDir%bin\
	• Linux、HP-UX、Solarisの場合:/opt/OV/bin/
	• AIXの場合:/usr/lpp/OV/bin/
Health View サー バー	HP Operations Agent Health View をインストールしたサーバー。

## 第2章: HP Operations Agent Health View のイ ンストール

HP Operations Agent Health View をインストールするには、次の手順を実行します。

1. HP Operations Agent Health View パッケージをサーバー上 にインストールします

**注:** HP Operations Agent Health View は、Linux および Windows x64 プラットフォームでのみサポートされています。

2. ノード上に HP Operations Agent 12.00 をインストールし、ヘルス監視を有効にします。

## サーバー上への HP Operations Agent Health View パッケージのインストール

HP Operations Agent Health View パッケージをインストールするには、次のいずれかの方法を実行します。

• HPOM 管理サーバー上に HP Operations Agent 12.00 を登録する際に、 HP Operations Agent Health View をインストールします。

注: 登録 するプラットフォームに関係なく、HP Operations Agent 12.00 を登録 する際に Health View パッケージをインストールできます。

または

• HPOM 管理サーバー上に HP Operations Agent 12.00 を登録せずに HP Operations Agent Health View をインストールします。

または

• HPOM 管理サーバー以外のサーバー上に HP Operations Agent Health View をインストールします。

前提条件

- Health View サーバー上のローカル エージェントは HP Operations Agent 12.00 にアップグレードす る必要があります。
- 通信を成功させるために、サーバーとノードの間に信頼関係を確立する必要があります。Health View サーバーとノード上に必ず同じ認証局からの証明書をインストールします。証明書が異なる 証明機関からのものである場合は、CA 証明書を交換し、それらをノードと信頼されたキーストア にインポートします。詳細については、『HP Operations Manager インストール ガイド Linux 向 け』の「2 つの管理サーバー間でのトラスト関係の確立」、または HP Operations Manager for Windows オンライン ヘルプの「複数の管理サーバーに対する信頼済み証明書の設定」を参照して ください。
- HP Operations Agent の Performance Collection Component (HP Operations OS Inst Performance LTU) のみを使用する場合は、以下を実行する必要があります。

- 必ず HPOM 管理サーバーに対するデフォルトの HBP 設定を無効にします。詳細については、「Health View 機能の設定」を参照してください。
- プロファイル ファイルで、Health View サーバーを更新するために OPC\_SELFMON\_SERVER 変数 を追加し、OPC\_SELFMON\_ENABLE 変数を TRUE に設定します。

**注:** インストール後に OPC\_SELFMON\_ENABLE 変数を TRUE に設定した場合は、アクション エージェント (**opcacta**) を手動で起動する必要があります。

- 証明書をサーバーとノードにインストールする場合は、必ず同じ認証局からのものにします。 証明書をインストールすると、サーバーとノード間の通信は HTTPS モードを経由します。
- サーバーとノードの両方に証明書をインストールしない場合は、サーバーとノード間の通信は HTTP モード経由になります。

**注:** Health View サーバー上のローカルエージェントは、ご使用の環境内の他のノードと見なされます。

HP Operations Agent Health View のインストール

タスク	実行手順
HPOM 管理サーバー上に HP Operations Agent 12.00 を登録する際 に、HP Operations Agent Health View をインストールします。	<ol> <li>.ISO ファイルをダウンロードしていること、または HP Operations Agent 12.00 の物理 DVD が手 元 にあること を確認します。</li> <li>管理者としてサーバーにログオンします。</li> <li>.ISO ファイルの内容をサーバーのローカル ディレクトリに 展開するか、または.ISO ファイルをマウントします。</li> <li>メディアのルートに移動し、以下のコマンドを実行して エージェントの配布 パッケージを登録し、Health View パッケージをインストールします。</li> <li>Windows の場合: cscript oainstall.vbs -i -m -hv -healthview</li> <li>Linux の場合:./oainstall.sh -i -m -hv - healthview</li> <li>サーバー上の HP Operations Agent Health View 設定 を確認します。</li> </ol>
HP Operations Agent Health View を HPOM 管理サーバーに登録せずにイ ンストール	<ol> <li>ISO ファイルをダウンロードしていること、または HP Operations Agent 12.00 の物理 DVD が手元にあること を確認します。</li> </ol>
または	2. 管理者としてサーバーにログオンします。
HPOM 管理サーバー以外のサーバー にHP Operations Agent Health View をインストール	3ISO ファイルの内容をサーバーのローカル ディレクトリに 展開するか、または .ISO ファイルをマウントします。

HP Operations Agent Health View のインストール(続き)

<ol> <li>メディアのルートに移動し、次のコマンドを実行して、 エージェント配布パッケージを登録し、Health View パッ ケージをインストールします。</li> </ol>
• Windows の場合:cscript oainstall.vbs -i - hv -healthview
• Linux の場合:./oainstall.sh -i -hv - healthview
5. サーバー上の HP Operations Agent Health View 設定 を確認します。

**注:** その他の設定については、「サーバー上の HP Operations Agent Health View のカスタム設定」を 参照してください。

### サーバー上のHP Operations Agent Health View 設定を確認

サーバー上のHP Operations Agent Health View 設定を確認するには、以下のコマンドを実行します。

<OvBinDir>ovc -status

サーバー上の HP Operations Agent Health View の設定を確認するために、サーバー上で hpcsrvd プロ セスが実行されているかどうかを確認します。

## ノードへの HP Operations Agent 12.00 のインス トールとヘルス監視の有効化

HP Operations Agent 12.00 のインストール時またはインストール後に、ノード上で HP Operations Agent のヘルス監視を有効にすることができます。

- HP Operations Agent 12.00 のインストール時にノード上でヘルス監視を有効にするには、次のいず れかの方法を実行します。
  - HPOM 管理サーバーから HP Operations Agent 12.00 をリモートで配布すると、デフォルトでヘルス監視がノード上で有効になります。
  - HP Operations OS Inst Adv SW LTU を使用していて、HPOM 管理サーバーを Health View サー バーとして設定する場合は、ノードを HP Operations Agent12.00 にアップグレードすると、デ フォルトでヘルス監視がノード上で有効になります。
  - プロファイルファイルを使用して、HP Operations Agent 12.00 をインストールする際にヘルス 監視を有効にします (プロファイルファイルの使用の詳細については、『HP Operations Agent インストールガイド』を参照してください)。

- HP Operations OS Inst Adv SW LTU を使用していて HPOM 管理サーバーを Health View サーバーとして設定する場合は、デフォルトでヘルス監視がノード上で有効になります。
   または
- HP Operations OS Inst Performance LTU を使用するか、または HPOM 管理サーバー以外の サーバーに HP Operations Agent Health View をインストールした場合は、set agent.health:OPC\_SELFMON\_ENABLE=TRUEと set agent.health:OPC\_SELMON\_ SERVER=<Health View サーバー IP アドレス> をプロファイル ファイルに追加して、ノード 上でヘルス監視を有効にします。
- Glance Pak Software LTU を使用する場合は、set agent.health:OPC\_SELFMON\_ENABLE=TRUE と set agent.health:OPC\_SELMON\_SERVER=<Health View サーバー IP アドレス> をプロファイル ファイルに追加して、ノード上でヘルス監視を有効にします。
- HP Operations Agent12.00 をインストールした後にノード上でヘルス監視を有効にするには、次の いずれかの方法を実行します。
  - HP Operations OS Inst Adv SW LTU を使用していて、HPOM 管理サーバーを Health View サー バーとして設定する場合は、以下のコマンドを実行して、ノード上でヘルス監視を有効にしま す。
    - Unix の場合:

Linux、HP-UX、Solarisの場合:/opt/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable

AIX の場合:/usr/lpp/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable

- Windowsの場合:%OvInstallDir%nonOV\perl\a\bin\perl.exe
   %OvInstallDir%bin\selfmon\_configure.pl -enable
- HP Operations OS Inst Performance LTU を使用するか、または HPOM 管理サーバー以外のサー バーに HP Operations Agent Health View をインストールした場合は、以下のコマンドを実行し て、ノード上でヘルス監視を有効にします。
  - Unix の場合:

Linux、HP-UX、Solarisの場合:/opt/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>

AIX の場合:/usr/lpp/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>

- Windows の場合:%0vInstallDir%nonOV\perl\a\bin\perl.exe
   %0vInstallDir%bin\selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>
- Glance Pak Software LTU を使用する場合は、次のコマンドを実行して、ノード上でヘルス監視 を有効にします。
  - UNIX/Linux の場合:/opt/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>

注:

• HP Operations OS Inst Performance LTU を使用する場合は、selfmon\_configure.pl を実行

してヘルス監視を有効にした後で、手動でアクション エージェント (opcacta) を起動する 必要があります。以下のコマンドを実行して、opcacta を起動します。

<OvBinDir>ovc -start opcacta

- HPOM 管理サーバー以外のサーバーに HP Operations Agent Health View をインストールした 場合は、HP Operations Agent Health View を設定しているシステムの IP アドレスを使用し てノードを設定します。詳細については、「ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の 設定」を参照してください。
- HP Operations Agent Health View は、Glance Software LTU のみを使用する場合は利用でき ません。

### ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定の確認

ノード上のHP Operations Agent ヘルス監視を確認するには、以下のコマンドを実行します。

<OvBinDir>ovc -status

ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定を確認するには、hpsensor プロセスがノード上で 実行されているかどうかを確認します。

**注: HP Operations OS Inst Adv SW LTU** または HP Operations OS Inst Performance LTU を 使用する場合は、実行する hpsensor に対して設定変数 OPC\_SELFMON\_ENABLE を TRUE に設定します。

### HP Operations Agent Health View へのアクセス

HP Operations Agent Heath View にアクセスするには、以下の手順を実行します。

ブラウザで次のアドレスを入力して、HP Operations Agent Health View サーバーを開きます。
 https://<マシン名>:<HPCS サーバー ポート>/#/

ここで、

<マシン名 >: Health View サーバーが設定されているマシンの名前。 デフォルトで、 Health View サーバーとして HPOM 管理 サーバーが設定されています。

<HPCS サーバー ポート>: サーバー (Health View サーバー) が稼動しているポート番号。 デフォルト では、ポート 8092 が設定されます。

**注**: HP Operations Agent ヘルス監視を備えたノードを設定します。詳細については、「ノード での HP Operations Agent ヘルス監視の設定」を参照してください。HP Operations Agent ヘル ス監視を備えたノードを設定すると、5分後に設定したノードが Health View サーバー上に表 示されます。

2. 指定した管理ノードの HP Operations Agent Node Health View を開くには、Health View サー バー上でホスト名をクリックします。ノードのヘルスとパフォーマンスの状態を監視できます。 3. 指定した HP Operations Agent プロセスの HP Operations Agent Process Health View を開くに は、ノードのヘルスビュー上でプロセス名をクリックします。プロセスのリソース使用率、ヘルス、ポリ シー パラメータの詳細を監視できます。

**注:** インストールが完了すると、ネットワーク ポート <8092 またはその他の設定済みのポート> で HP Operations Agent ヘルス ウェブ インターフェイスが使用できます。現時点ではこのイン ターフェイスはさらなるクライアント認証をサポートしておらず、ネットワーク ポート <8092 またはその他の設定済みのポート> 上のホストへのアクセスが可能なすべてのネットワーク エン ティティで使用できます。

したがって、このポートへのネットワーク アクセスは、許可されたサーバーのみに制限することをお勧めします。これを行うには、ホスト レベルでローカルに、またはネットワーク ファイアウォール レベルで一元的に、IP/ポート ルールの制限を実装します。

注: Windows の場合、Health View サーバーはファイル パスに ~ のような特殊文字が含まれてい ても必要なファイルにアクセスできます。これは、ファイル パス内の特殊文字を制限するよう に Windows の設定を更新した場合にのみ制限できます。

### サポートされているブラウザ

HP Operations Agent Health View にアクセスするには、以下の Web ブラウザを使用します。

オペレーティング システム	サポートされているブラウザ
Microsoft Windows	Internet Explorer 10 および 11
	Google Chrome 43
	Mozilla Firefox 38 (ESR)
Linux	Mozilla Firefox 38 (ESR)
Apple Mac OS X	Safari 7.1.6

## サーバーからの HP Operations Agent Health View の 削除

HP Operations Agent Health View パッケージをサーバーから削除するには、以下の手順を実行します。

- 1. 管理者としてサーバーにログオンします。
- 2. 以下のディレクトリに移動します。
  - Windows の場合: %ovinstalldir%bin\OpC\agtinstall
  - Linux の場合:/opt/OV/bin/OpC/agtinstall

- 3. 次のコマンドを実行します。
  - Windows の場合:cscript oainstall.vbs -r -m -healthview
  - Linux の場合:./oainstall.sh -r -m -healthview

## 第3章: HP Operations Agent Health View の設 定

Health View サーバー上の HP Operations Agent Health View のデフォルトの設定、およびノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定を更新できます。

- サーバー上の HP Operations Agent Health View の設定
- ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定

## サーバー上の HP Operations Agent Health View の設 定

サーバー上に HP Operations Agent Health View をインストールした後に、hpcsrv.conf ファイルを使用してデフォルトの設定を変更できます。

以下の手順に従ってください。

- 1. 管理者としてサーバーにログオンします。
- 2. 以下のディレクトリに移動します。
  - Windows の場合: %0vDataDir%shared\server\hpcsrv\
  - Linux の場合:/var/opt/OV/shared/server/hpcsrv/
- 3. hpcsrv.conf ファイルを開き、次の値を編集します。

名前空間	パラメータ	詳細
hpcs.runtime	port	デフォルトのポート番号を <b>port=&lt;値</b> > で更新します。 デフォル トでは、ポート 8092 が設定されます。
		ここで、<値 > は、HP Operations Agent Health View サー バーが使用するポート番号です。
hpcs.runtime	num_threads	デフォルトのスレッド数を num_threads=<値 > で更新しま す。 デフォルトでは、スレッド数は 30 に設定されます。
		ここで、<値>は、クライアントからの受信要求を処理するため に割り当てられたワーカースレッド数です。受信要求の数が 多くなる場合はこの値を増やします。

hpcs.runtime	connection_ backlog	デフォルトの接続バックログを connection_backlog=<値 > で 更新します。デフォルトでは、接続バックログは、Windows の 場合 16384、Linux の場合 512 に設定されます。 ここで、<値 > は Web サーバーのバックログ ソケット キューの長 さです。最大のスケーラビリティを得るにはこの値を増やしま す。
hpcs.runtime	regBBC	BBC に登録するには、 <b>hpcsrv</b> コンポーネントに <b>regBBC=true</b> を設定します。
hpcs.registry	UpdateInterval	デフォルトの更新インターバル値を UpdateInterval=<値>で 更新します。 デフォルト値は 60 秒です。 ここで、 <値>は HBP エントリが統合される頻度です。 最大 のスケーラビリティを得るにはこの値を増やします。
hpcs.trace	Debug_Level	デバッグレベル値を次のいずれかで更新します。 <b>Debug_</b> Level= <info all="" debug="" error="" warn="">. 例: Debug_Level=INFO は hpcsrvtrace.log に INFO メッ セージのトレースを提供します。</info>

注: すべてのパラメータを手動で設定する場合、hpcsrvdを再起動する必要があります。以下のコマンドを実行して、hpcsrvdを再起動します。

<OvBinDir>ovc -restart hpcsrvd

また、次の表に示される XPL 変数を使用することで、hpcsrvd プロセスのデフォルト動作を設定できます。

変数	名前空間	説明	再起動の必 要性	デフォルト 値	型
ENFORCE_ SERVER_ SSL	hpcsrvd	このパラメータは、HTTP サー バーで許可される接続を制御し ます。	あり	ALL	String
		このパラメータに指定できる値 は以下のとおりです。			
		NONE: HTTP サーバーは、SSL 接 続と非 SSL 接続の両方を受け付 けます。			
		REMOTE: HTTP サーバーとのすべ てのリモート接続に SSL を使用 する必要があります。SSL を使 用していないリモート接続は自 動的に拒否されます。ローカル 接続には SSL 接続と非 SSL 接続			

変数	名前空間	説明	再起動の必 要性	デフォルト 値	型
		を使用できます。 ALL: HTTP サーバーとのすべての 接続に SSL を使用する必要があ ります。SSL を使用していない 接続は自動的に拒否されます。 これ以外の値を設定した場合、 このパラメータは無視されま す。HTTP サーバーは、HTTP サーバー要求を作成するときに アプリケーション指定の認証方 式を使用します。このパラメー タの大文字と小文字は区別され ません。			
		注:「NONE」または 「REMOTE」に設定すると セキュリティ機能が無効に なるため、このパラメータ の設定は慎重に行ってくだ さい。			

### ログ ファイル

HPCS ログ ファイル hpcsrvtrace.log は、次のディレクトリにあります。

- Windows の場合: %OvDataDir%shared\server\hpcsrv\
- Linux の場合:/var/opt/OV/shared/server/hpcsrv/

## ノード上の HP Operations Agent ヘルス監視の設定

HP Operations Agent 12.00 をインストールした後に、selfmon\_configure.pl スクリプトを使用して HP Operations Agent のヘルス監視のデフォルト設定を更新できます。以下の手順に従ってください。

- 1. HP Operations Agent 12.00を管理者としてインストールしたノードにログオンします。
- 2. selfmon\_configure.pl スクリプトを使用して次のパラメータを設定できます。

パラメータ 詳細

-e -enable または -d -disable	HP Operations Agent ヘルスを無効または有効にします。 このコマンドは、 agent.health 名前空間の OPC_SELFMON_ENABLE 変数を設定します。
-s -server	HP Operations Agent Health View を設定しているシステムの IP アドレスまたは ホスト名。デフォルトで、Health View サーバーとして HPOM 管理 サーバーが設 定されます。このパラメータは、agent.health 名前空間の OPC_SELFMON_ SERVER 変数を設定します。これは、-e オプションと共に使用するオプションの パラメータです。
-i   interval	システムのヘルス情報を収集し、Health View サーバーに公開する頻度を定義 します。 デフォルト値は 300 秒で、推奨する最小値は 60 秒です。 このパラメー タは、agent.health 名前空間の OPC_SELFMON_INTERVAL 変数を設 定します。 これは、-e オプションと共に使用するオプションのパラメータです。

### たとえば、次のようになります。

HP Operations Agent Health View サーバーを更新するには、以下のコマンドを実行します。

- Unix の場合:
  - Linux、HP-UX、Solarisの場合:/opt/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable -s
     <Health View サーバー IP アドレス>
  - AIXの場合:/usr/lpp/perf/bin/selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>
- Windows の場合:

%OvInstallDir%nonOV\perl\a\bin\perl.exe %OvInstallDir%bin\selfmon\_configure.pl -enable -s <Health View サーバー IP アドレス>

ここで、

<サーバー>には Health View サーバーの IP アドレスまたはホスト名を指定します。

<%OvInstallDir%nonOV\perl\a\bin\perl.exe> はWindows 上のPerl へのパスです。

**注: HP Operations OS Inst Adv SW LTU** または HP Operations OS Inst Performance LTU を設定して、selfmon\_configure.pl スクリプトを実行する前にヘルス監視が確実に動作 するようにします。

注: すべてのパラメータを手動で設定する場合は、hpsensorを再起動する必要があります。

以下のコマンドを実行して、hpsensor を起動します。

<OvBinDir>ovc -restart hpsensor

### ログ ファイルと hpcs.conf ファイル

HPCS ログ ファイルの hpcstrace.log、hpcswatch.log と、hpcs.conf ファイルは、次のディレクトリに あります。

- Windows の場合:%0vDataDir%hpcs\
- UNIX/Linux の場合:/var/opt/OV/hpcs/

## ovconfchg を使用した HP Operations Agent ヘルス監視機能の設定

次のヘルス監視機能も設定するには ovconfchg を使用することもできます。

- HP Operations Agent ヘルス監視を有効にするには、以下のコマンドを実行します。
   <OvBinDir>ovconfchg -ns agent.health -set OPC\_SELFMON\_ENABLE TRUE
   デフォルト値は FALSE です。
- エージェントのヘルス監視インターバルを設定するには、以下のコマンドを実行します。
   <OvBinDir>ovconfchg -ns agent.health -set OPC\_SELFMON\_INTERVAL <値>
   デフォルト値は 300 秒で、推奨する最小値は 60 秒です。
- デフォルトの HBP 設定を無効にするには、以下のコマンドを実行します。
   <OvBinDir>ovconfchg -ns agent.health -set OPC\_SELFMON\_HBP FALSE
   デフォルト値は TRUE です。
- Health View サーバーを更新または変更するには、以下のコマンドを実行します。
   <<u>OvBinDir</u>>ovconfchg -ns agent.health -set OPC\_SELFMON\_SERVER <Health View サーバー IP アドレス>
   デフォルトで、Health View サーバーとして HPOM 管理サーバーが設定されています。

## 第4章: HP Operations Agent Health View の使 用

HP Operations Agent Health View には、次の3つのビューがあります。

- ダッシュボード ビュー
- ノードビュー
- プロセスビュー

## HP Operations Agent ヘルス ダッシュボード ビューの使用

HP Operations Agent Health View には、HP Operations Agent のヘルスに関する統合ビューが備えられています。 ダッシュボード ビューは、一元化された環境で HP Operations Agent を監視するのに役立ちます。 さまざまな環境にわたって配布された HP Operations Agent のヘルスは、円 グラフと棒 グラフで表されます。

**注**: HP Operations Agent Health View を使用して設定したノードのみのヘルスとパフォーマンスを監視できます。

HP Operations Agent ダッシュボード ビューは以下を提供します。

- HP Operations Agent Health View を使用して設定したノードのヘルスの概要。
- HP Operations Agent Health View を使用して設定したノードのヘルス、オペレーティングシステム、およびバージョン詳細の迅速な表示。注意が必要な HP Operations Agent の数も取得できます。
- 各管理ノードにドリルダウンして、HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータスを表示します。

ユーザー インターフェイス



以下の表に、画像に示されるUI要素を説明します。

凡例	セクション	説明	
1	概要	HP Operations Agent を示します。注意カ エージェントの数も ここには、注意が必 べてのエージェント	t Health View を使用して設定したエージェント数の概要 <sup>N</sup> 必要なエージェントの数および <b>データが不足している</b> D確認できます。 S要なエージェントとして <b>エラーまたは警告</b> 状態にあるす N ノードが示されます。
2	エージェン トの状況	HP Operations Agent るエージェントのへ 示されます。	t Health View を使用して設定したノード上で稼動してい 、ルスの概要を示します。 円グラフによって以下の詳細が
		ステータス	説明
		エラー	これらのエージェント ノードでは、1 つ以上のサブ エージェントが中止状態にあります。
		Warning (注意域)	これらのエージェント ノードでは、1 つ以上のパラ メータが失敗しました。
		Normal (正常域)	これらのエージェント ノードでは、すべてのエージェ ント プロセスが実行中の状態で、すべてのパラメータ が正常な状態です。
		lnsufficient Data (データが不足し ています)	これらのエージェント ノードからデータが受信されま せん。

		<b>注:</b> 各色は、HP 上で稼動してい	Operations Agent Health View を使用して設定したノード るエージェントのさまざまな状態を表します。
3	05 別の エージェン ト	各種オペレーティ 稼動しているエー Operations Agent す。	ング システム (AIX、HP-UX、Linux、Solaris、Windows) 上で ジェントの概要を、棒グラフで表します。この情報は、HP Health View を使用して設定したノードでのみ使用できま
4	バージョン 別のエー ジェント	さまざまなバージ 概要を示します。 設定したノードで	ョンの HP Operations Agent で稼動しているエージェントの この情報は、HP Operations Agent Health View を使用して のみ使用できます。
		<b>注:</b> HP Operatior み使用できます	ns Agent Health View は、HP Operations Agent 12.00 での 。
5	エージェン トの状態	エージェントの現 用意されています 使用の環境で、中 パラメータが失敗 のタブをクリック れます。	在の状態に基づいてエージェント リストを表示するタブが 。デフォルトでは、[エラー] タブが選択されています。ご 止状態にあるエージェントが存在しない場合、1 つ以上の している ([警告] タブ) エージェントが一覧されます。任意 すると、エージェントのリストがそれぞれの状態で表示さ
_	(生田二 →)	は田二」ブルズけ	
6	和来テーク ル	和来 した状態のエージ を使用して設定し 以下に、エンティ	、エージェントか状態別にクルーフ化されています。選択 「ェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。
6	ね来テークル	結果) ークルでは した状態のエージ を使用して設定し 以下に、エンティ エンティティ	、エーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 テェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。 <b>説明</b>
6	ね来テークル	和来) ー フルでは した状態のエージ を使用して設定し 以下に、エンティ エンティティ ホスト名	<ul> <li>スーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 テェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li>説明</li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> </ul>
6	ね来テークル	ARAF) = クルでは した状態のエージ を使用して設定し 以下に、エンティ エンティティ ホスト名 状態	<ul> <li>スーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 デェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li>説明</li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> <li>ノードの状態 (Error (エラー)、Warning (注意域)、Normal (正常域)、Insufficient Data (データが不足しています))を 指定します。</li> </ul>
6	ね来テークル	<ul> <li>ARAF) = クルでは</li> <li>した状態のエージ</li> <li>を使用して設定し</li> <li>以下に、エンティ</li> <li>エンティティ</li> <li>ホスト名</li> <li>状態</li> <li>ヘルス</li> </ul>	<ul> <li>スーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 デェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li><b>説明</b></li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> <li>ノードの状態 (Error (エラー)、Warning (注意域)、Normal (正常域)、Insufficient Data (データが不足しています))を 指定します。</li> <li>ノードのヘルスを指定します。</li> </ul>
6	ね来テーノル	ARAF) ー クルでは した状態のエージ を使用して設定し 以下に、エンティ エンティティ ホスト名 状態 ヘルス バージョン	<ul> <li>スーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 デェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li>説明</li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> <li>ノードの状態 (Error (エラー)、Warning (注意域)、Normal (正常域)、Insufficient Data (データが不足しています))を 指定します。</li> <li>ノードのヘルスを指定します。</li> <li>ノード上にインストールしている HP Operations Agent の バージョンを指定します。</li> </ul>
6	ね来テーノル	<ul> <li>ARR ) ー クルでは</li> <li>した状態のエージ</li> <li>を使用して設定し</li> <li>以下に、エンティ</li> <li>エンティティ</li> <li>ホスト名</li> <li>状態</li> <li>ヘルス</li> <li>バージョン</li> <li>OS</li> </ul>	<ul> <li>スーシェントか状態別にクルーフ化されています。選択 デェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li><b>説明</b></li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> <li>ノードの状態 (Error (エラー)、Warning (注意域)、Normal (正常域)、Insufficient Data (データが不足しています))を 指定します。</li> <li>ノードのヘルスを指定します。</li> <li>ノード上にインストールしている HP Operations Agent の バージョンを指定します。</li> <li>ノードのオペレーティングシステムを指定します。</li> </ul>
6	ね来テーノル	<ul> <li>ARAF) = クルでは</li> <li>Lた状態のエージ</li> <li>を使用して設定し</li> <li>以下に、エンティ</li> <li>エンティティ</li> <li>ホスト名</li> <li>状態</li> <li>ヘルス</li> <li>バージョン</li> <li>OS</li> <li>システムタイ</li> <li>プ</li> </ul>	<ul> <li>スーシェントが状態別にクルーフ化されています。選択 デェントのリスト、または HP Operations Agent Health View た環境内のすべてのエージェントのリストを表示します。 ティとその説明を示します。</li> <li><b>説明</b></li> <li>HP Operations Agent ヘルス監視が設定されているノー ド。</li> <li>ノードの状態 (Error (エラー)、Warning (注意域)、Normal (正常域)、Insufficient Data (データが不足しています))を 指定します。</li> <li>ノードのヘルスを指定します。</li> <li>ノード上にインストールしている HP Operations Agent の バージョンを指定します。</li> <li>ノードのオペレーティングシステムを指定します。</li> <li>物理マシン、仮想マシン、またはホスト。</li> </ul>

任意のエージェント ノードを検索したり、上記に一覧したエンティティを基 に結果テーブルを昇順または降順に並べ替えたりすることもできます。 [ホスト名]をクリックすると、選択したノードの下にある実行中のプロセス をドリルダウンして確認できます。

### HP Operations Agent ヘルスノード ビューの使用

HP Operations Agent ノード ビューは、現在使用中のプロセスとリソースのリストを表示するのに役立ちま す。ノード ビューには、インストールされている HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータス を表示する、各管理ノードへのドリルダウン ビューが備えられています。CPU やメモリ、ファイル システムな どの HP Operations Agent プロセスのシステム リソース使用率を、全体的なリソース使用率に対して、 相対 グラフ形式で表示できます。

HP Operations Agent ノード ビューは、以下を実行するのに役立ちます。

- ノードのリソース使用率の監視。
- HP Operations Agent プロセスのヘルスの監視。
- ドリルダウンして、プロセスヘルスビューの表示。
- HP Operations Agent のバージョンおよびライセンス情報の表示。

### ユーザー インターフェイス

C 🛃 HP OPERATIONS AGENT HEALTH VIEW					2
「リソース使用軍(%) ■合計(PU)使用率 DA CPU(使用率	失敗したプロセ	27		[	a
100.0	エージェント状況テ 説明	ータの最終収集時刻: Oct 8, 2015 4:49:	:27 PM 1 名前	プロセス状態	時刻
75.0	agtrep l は '停止' む	大態です。	agtrep	🛕 停止	No Data
25.0	hpsensor l は '停止	: '状態です。	hpsensor	🛕 停止	No Data
0.0	oacore は '停止' れ	犬態です。	o oacore	🛕 停止	No Data
■△計→エロ通用支	ompolparm は '停	『止' 状態です。	Z ompolparm	🛕 停止	No Data
■ Balk U Starry ■ DA メモリ使用率	opceca は '停止' i	状態です。	opceca	🛕 停止	No Data
75.0	'midaemon'のプロ	コセスIDが変更されました。	midaemon	🛕 Running	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
50.0	ttd は 'Stopped' お	大態です。	ttd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
25.0	perfd1å 'Stopped	「状態です。失敗した状況バラメータ:Cli	ient_Connection. perfd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
	実行中のプロゴ	7		Г	0
0perations Agent (0A)のパージョン <b>12.00.078</b>	ブロセス10	∴ <b>7</b> 0173-8 ⇒	% 合計 CPU 使用率 🔹	%合計メモリ使用率	
<b>プライマリマネージャ</b> iwfvm05602.hpswlabs.hp.com	48700	hpsensor	3.5	0.5	·
ライセンス情報 OA PA RTMA	46483	ovcd	0.2	0.3	
	13305	perfalarm	0	0.1	
	46493	ovbbccb	0	0.3	
	46513	ovconfd	3	0.3	
	46536	opemsga	0	0.2	
	46562	opcacta	0	0.2	
	47957	midaemon	0	0.0	· · · ·

48433

48668

oprmona

0

0.6

0.3

### 以下の表に、画像に示される UI 要素を説明します。

凡例	セクション	説明	
1	エージェントの リソース使用率	CPU やメモリなど を、全体的なリソ す。インストール イマリ マネージャ 使用率グラフは 10 たインスタンスで	の HP Operations Agent プロセスのリソース使用率 ース使用率に対して、相対グラフ形式で表示しま されている HP Operations Agent のバージョン、プラ 、ライセンス情報も表示できます。 )秒おきに更新され、4 分間の使用率データは指定し 利用できます。
2	失敗したプロセ ス	選択したノードの 表示します。 に エンティティ	失敗したプロセスおよびプロセスが失敗した時刻を をクリックすると、テーブルが更新されます。以下 とその説明を示します。
		エンティティ	説明
		説明	失敗したプロセスの詳細。
		名前	失敗したプロセスの名前。
		プロセス状態	プロセスの状態 ((Running (実行中)、Aborted (中 止)、Stopped (停止))。
		Time	最後のエージェントのヘルス収集時刻/最後のプ ロセス中止時間。
		<b>[プロセス名]</b> をク ヘルス パラメータ できます。	リックすると、選択したプロセスに対して失敗した 'またはポリシー パラメータをドリルダウンして確認
3	実行中のプロセ ス	選択したノード上 セス、さらに各プ します。プロセス プロセスの CPU ま る場合があります。 プロセスの 10% に ブルが更新されま	で実行されているすべての HP Operations Agent プロ ロセスの CPU 使用率、メモリ使用率、使用率を表示 のいずれかが Warning (警告) 状態である場合、その たはメモリ使用率が定義したしきい値に違反してい 。CPU およびメモリ使用率のしきい値は、すべての 記定されています。 ここ をクリックすると、テー す。以下に、エンティティとその説明を示します。
		エンティティ	<b>説明</b>
		プロセスID	実行中のプロセスのプロセス ID。
		プロセス名	プロセスの名前。

合計 CPU 使用 率 (%)	プロセスの CPU 使用率。
合計メモリ使 用率 (%)	プロセスのメモリ使用率。
使用率	プロセス [ 🧹 Normal (正常域) または 🛕 Warning (注意域)] の使用率。
任意のエージェン テーブルを昇順る	ント プロセスを検索して、前述のエンティティを基に または降順に並べ替えることができます。
<b>[プロセス名]</b> をク タとポリシー パ	7 リックすると、選択したプロセスのヘルス パラメー ラメータをドリルダウンして確認できます。

## HP Operations Agent ヘルスプロセスビューの使用

プロセスビューを使用すると、各 HP Operations Agent プロセスのヘルス パラメータとポリシー パラメータの 詳細を表示できます。 プロセスビューには、各 エージェント プロセスへのドリルダウンビューが備えられてお り、リソース使用率の詳細を表示できます。

HP Operations Agent プロセスビューを使用すると、以下を実行することが可能になります。

- プロセスのヘルスおよびポリシー パラメータの詳細の表示。
- 過去1時間、1日間、または3日間のプロセスに対するイベントの表示。
- 選択したプロセスのリソース使用率の表示。
- HP Operations Agent プロセスの配布済みのポリシーの監視。
- 失敗したヘルスパラメータに関する情報の表示。

ユーザー インターフェイス

ボード > IWFVM01312.h	pswlabs.adapps.hp.com	> opcmsgi					
ドロパニメーク			ポリシュー パラメータ	ס 🖬 אן כ	セス開始時刻	22/10/2015 2	:0:26:17 🖸
ッル・ファース ージェント状況データの最終u	仅集時刻: Oct 26, 2015 3:55:(	06 PM 🟮	[エージェント状況データの最	終収集時刻: <b>0</b> 0	:t 26, 2015 3:55:	D6 PM ] 🤨	
名前	ステータス/カウント	最終更新時刻	ポリシー名	ポリシータイ ブ	ボリシーの状 態	ポリシー間隔	最終実行時 刻
ポリシーの 初期化	<ul> <li>✓</li> </ul>	Oct 22, 2015 8:26:17 PM	opcmsg(1 3)	opcmsgi	✓ active	N/A	Oct 25, 2015
メッセージ インターセブタ キューを読み込む 	×	Oct 25, 2015 6:20:22 PM	HC:Msg_1	opcmsgi	✓ active	N/A	Oct 25, 2015
ソース使用率		٩	ESF:Application_Command	opcmsgi	✓ active	N/A	6:20:22 PM
メトリック名	値	単位			, denve		6:20:22 PM
Jser Name	root	N/A		4.0188			
Thread Count	<b>2</b> <sup>3</sup>	N/A		一時間		4 <b>0</b> 0	ų
CPU %	0.0	%	タイムスタンフ キ 里要度	÷	5	899	*
				エージェ	ハ ロクにほフロ	セスのイベント	まめりません。

### 以下の表に、画像に示される UI 要素を説明します。

凡例	セクション	説明	
1	状況パラメータ	選択したプロセ ます。いずれか ます。パラメー ドに基づいて考	スのプロセス ヘルス パラメータとその各状態を表示し のパラメータをクリックしてパラメータ詳細を確認し タが失敗した状態である場合は、実行した診断コマン えられる修正アクションを表示できます。
2	プロセスのリソー ス使用率	選択したプロセ 使用率を表示し	スに対して、定義済みの各種メトリック別にリソース ます。以下に、エンティティとその説明を示します。
		エンティティ	説明
		メトリック名	メトリックの名前。
		値	メトリックの値。
		単位	メトリックの単位。

3	プロセスの詳細	プロセスの開始時間	『を表示します。 🧲 をクリックすると、プロセ
		スのヘルスと使用率 フォルトでは 300 種	≊の詳細が更新されます。プロセスの詳細は、デ ⊍ごとに更新されます。
4	プロセス ポリ シー パラメータ 詳細	ポリシー名やポリミ 行時刻などのプロセ に、エンティティと	シー タイプ、ポリシー状態、ポリシー間隔、最終実 zス ポリシー パラメータ詳細を表示します。以下 cその説明を示します。
		エンティティ	説明
		ポリシー名	ポリシーの名前。
		ポリシー タイプ	ポリシーまたは収集パラメータのタイプ。
		ポリシーの状態	ポリシーの状態 (Active (アクティブ)/Not Responding (応答なし)、Failed (失敗))。
		ポリシー間隔	ポリシーを実行する頻度を定義します。
		最終実行時刻	ポリシーの最終実行時刻。
		ポリシーの詳細は、 ノードの中の選択し ります。	HP Operations Agent ヘルス監視を設定している 、たノードの下にある選択したプロセスが対象とな
5	イベント	選択したプロセスの 択することで、1時 ルトでは、最後の1 の1時間に記録され に記録されたイベン	Oイベント詳細を表示します。それぞれのタブを選問、1日、3日のイベントを表示できます。デフォ 問、1日、3日のイベントを表示できます。デフォ 時間に記録されたイベントが表示されます。最後 れたイベントがない場合は、最後の1日または3日 ットが表示されます。
		イベントの時間、重	重要度、説明を表示できます。マウスのポインタを
		<b>①</b> アイコンの上 ます。	に移動すると、重要度についての詳細が表示され

# 第5章: HP Operations Manager からの HP Operations Agent Health View の起動

HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータスには、HP Operations Manager GUI から もアクセスできます。

HP Operations Manager for Linux からの HP Operations Agent Health View の起動

HP Operations Manager for Windows からの HP Operations Agent Health View の起動

## HP Operations Manager for Linux からの HP Operations Agent Health View の起動

HP Operations Manager for Linux Java GUI から HP Operations Agent の状況パースペクティブを取得で きます。HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータスにアクセスするには、次の手 順を実行します。

- 1. 管理者として、HP Operations Manager for Linux サーバーにログオンします。
- 2. HP Operations Manager for Linux Java GUI を開きます。
- 3. 左のパネルにあるノードを右クリックします。
- 4. [スタート] → [HP Operations エージェント] → [Operations Agent HealthDashboard] (または [HP Operations Agent HealthNode View]) を選択します。

🖁 HP Operations Manager for UNIX (iwfwni6662.hpswlabs.hp.com) [opc_adm]
ファイル(1) 嘉集(1) 表示(2) アクション(4) ウィンドウ(20) ヘルブ(1)
UR 2 🗢 🖼 🖻 🔮 📾 😂 🖬 😂 🖬 🚣 🖄 🏛
$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $
フィルクロズ レジョートあット(1)
●同僚   ●探   OLISANDE  ▼ 必得防約   ノード   デリタージョン・ルージ グルーネオジュット   イルルージェント
12052715/1008 iv/tvm05602.hp., eleman / 27 + Tend of Memory Bottleneck Alert* START. 2015/1008 09.25
<mark>ジ形域 - x 12:00:26 15/10:08 iwf/vm05602.hp alarmgen パフォーマ Memory "Memory Bottleneck probability= 70.00%" START: 2015/10</mark>
武宗館     「スーーーー 11:05:30 15/10:08 iw/tym05602.hp alarmgen パフォーマ Memory "End of Memory Bottleneck Alert" START: 2015/10:08 08:25
2#0 m
② 金子オフィオブ メッセージ     ■大切 メッセージ     ■大切 メッセージを考示 ○ ○

5. HP Operations Agent Health View サーバーが起動します。



6. ドリルダウンして HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータスを表示します。

**注:** Health View サーバー ポートを手動でデフォルト以外のポートに設定した場合、設定済みの サーバー ポートにポートを変更して **[ツール]** メニューを更新します。以下の手順に従ってくだ さい。

• 以下のコマンドを実行して、applications.dat ファイルを開きます。

/var/opt/OV/share/databases/OpC/mgd\_ node/tools/C/APPLICATIONS/applications.dat

• OperationsAgent HealthDashboard アプリケーションの場合、以下を更新します。

APPL\_CALL "https://\$OPC\_MGMTSV:8092/#/dashboardview" を APPL\_CALL "https://\$OPC\_MGMTSV:<設定済みサーバー ポート>/#/dashboardview"に変更します

• 以下のコマンドを実行して、【ツール】メニューを更新します。

/opt/OV/bin/OpC/opccfgupld -replace /var/opt/OV/share/databases/OpC/mgd\_ node/tools

## HP Operations Manager for Windows からの HP Operations Agent Health View の起動

HP Operations Manager for Windows から HP Operations Agent の状況パースペクティブを取得できま す。HP Operations Agent のヘルスとパフォーマンスのステータスにアクセスするには、次の手順を 実行します。

- 1. 管理者として、HP Operations Manager for Windows サーバーにログオンします。
- 2. HP Operations Manager for Windows を開きます。
- 3. 左パネルにある [ツール] メニューの下の HP Operations Agent をクリックします。
- 4. **[OpeartionsAgent HealthDashboard]** をクリックして、HP Operations Agent Health View サーバー を表示します。



5. ブラウザのウィンドウに HP Operations Agent Health View サーバーが開きます。



- 6. **[ホスト名]**をクリックして、各管理ノードにドリルダウンして、HP Operations Agent のヘルス とパフォーマンスのステータスを表示します。
- 7. HP Operations Manager for Windows から直接指定したノードの HP Operations Agent ヘルスを起動するには、[ツール] → [HP Operations Agent] → [Operations Agent Health NodeView] を選択します。



- 8. ポップアップ ウィンドウからノードを選択して、【起動】をクリックします。
- 9. ブラウザのウィンドウに HP Operations Agent Health View が開きます。

ス使用率(%)						
	■合計 CPU 使用率 ■ OA CPU 使用率	失敗したプロセス エージェント 状況データの劇	最終収集時初: Ort 8, 2015 4:49:27	PM 0		
		1899		名前	プロセス状態	時刻
		agtrep は '停止' 状態です	t.	agtrep	🛕 停止	No Data
		hpsensor は '停止' 状態で	्व.	hpsensor	🛕 停止	No Data
		oacoreは '停止' 状態です	r.	oacore	🛕 停止	No Data
	■ 今計 ·/工1/値田安	ompolparm は '停止' 状態	旅です。	ompolparm	🛕 停止	No Data
	■ 0A メモリ使用率	opceca は '停止' 状態です	T .	орсеса	🛕 停止	No Data
		'midaemon'のプロセス ID	Dが変更されました。	midaemon	🛕 Running	Oct 8, 2015 2:19:27 F
		ttd は 'Stopped' 状態です.	•	ttd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 F
		perfd1は 'Stopped' 状態で	?す。失敗した状況パラメータ:Clien	t_Connection. perfd		Oct 8, 2015 2:19:27
		実行中のブロセス				
ns Agent (OA) のバージョン	12.00.078	実行中のブロセス <b>ブロセス</b> の		%合計 CPU 使用率 🗸	%合計メモリ使用率	
s Agent (0A) のパージョン マネージャ	12.00.076 iv/vm05502.hpsvlabs.hp.com	実行中のブロセス <b>プロセスID</b> 48700	፡   プロセス名 ፡ ፡ hpsensor	%合計 CPU 使用率 🗸	% 合計メモリ使用率 0.5	÷ 使用率
igent (DA)のバージョン ネージャ 線	12.00.078 iwfwn05602.hpswlabs.hp.com OA PA RTMA	実行中のブロセス <b>ブロセス 10 。</b> 45700 46483	c プロセス名 c hpsensor ovcd	% 合計 CPU 使用率 + 3.5 0.2	% 合計メモリ使用率 0.5 0.3	。 使用李 • •
gent (0A)のパージョン ネージャ 観	12.00.078 indrand5692.hpsvlabs.hp.com OA PA RTMA	実行中のブロセス <b>ブロセス ID</b> 。 46700 46483 13305	ः गाध्यक्ष ः hpsensor oved perfalarm	% 会計 CPU 税用率 ・ 3.5 0.2 0	%合計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1	◦ 使用率 ✓ ✓
gent (04)のパージョン ネージャ 税	12.00.078 hvfvm05602.hpsvlabs.hp.com OA PA RTMA	実行中のプロセス <b>プロセス10</b> 。 46700 46483 13305 46493	c JUEXE c hysensor ovcd perfalarm ovbccb	% 会計 crv 税用率 ・ 3.5 0.2 0	% 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3	。 使用年 ・ ・ ・ ・ ・ ・
igent (DA) のパージョン ネージャ 線	12.00.078 infrm65502.hpswlabs.kp.com OA PA RTMA	実行中のブロセス <b>グロセスゆ</b> 。 46700 46483 13305 46493 46513	c JIEZE c hpsensor oved perfalarm ovblecb ovconid	% 合計 tru 使用率 → 3.5 0.2 0 0	% 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3 0.3 0.3	。 西部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
ngent (DA) の バージョン ネージャ 福利	12.00.078 infrand5502.hpsvirabs.hp.com OA PA RTMA	実行中のブロセス <b>グルセスゆ</b> 。 46700 46483 13305 46493 46513 46556	c JIEZE c hpsensor oved perfalam ovebecb ovcontd opemsga	% 合計 cru 使用率 - 3.5 0.2 0 0 0 0 0	* 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.2	。 他時 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
Agent (0A) のパージョン マネージャ 背朝	12.00.078 indran05502.hpsvlabs.hp.com OA PARTMA	実行中のブロセス <b>グロセス0</b> 46700 46483 13305 465433 465536 465562	e 70 t28 e hpsensor oved perfalam ovebecb opensga opeata	% 会計 cou 想用率 ~ 3.5 0.2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	% 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3 0.3 0.3 0.3 0.2 0.2	- 10384 
Agent (0A) のパージョン マネージャ 背積	12.00.078 indren05502.hpsvlabs.hp.com 0A PA RTMA	実行中のブロセス <b>グロセス</b> 。 46700 46483 13305 46493 46513 46555 46562 47957	e <b>JUEXE o</b> hpsessor oved perfalam ovbbecb ovecnid opemsja opeata midaemon	% 合計 cou 想用率 ~ 3.5 0.2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	% 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.2 0.2 0.2 0.0	· 1998* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
:Agent (QA) のパージョン マネージャ 情報	12.00.078 indron05602.hpsvkabs.hp.com 0A PA RTMA	実行中のブロセス <b>グロセス</b> 0 46700 46483 13305 46493 46513 46552 46552 47957 48433	e <b>JUEXA </b> e hpoessor oved perfalam ovebreb covenid opersoja indaemon oacore	% 合計 cou 想用率 ~ 3.5 0.2 0	% 会計メモリ使用率 0.5 0.3 0.1 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.2 0.2 0.2 0.0 0.6	- 1098+ 

10. 【プロセス名】 をクリックして、各 HP Operations Agent プロセスのヘルスとポリシー パラメータの詳細をドリルダウンして表示します。

**注:** Health View サーバー ポートを手動でデフォルト以外のポートに設定した場合、ブラウザの URL 内の設定済みのサーバー ポートにデフォルト ポートを変更して [ツール] メニューを更新し ます。

## 第6章: 使用事例

この使用事例では、HP Operations Agent Health View を使用して、複数の管理ノードがある複雑な環境で発生した問題をすばやく特定できる方法を示します。

使用事例: エージェント ノード上で1つまたは複数のパラメータが失敗した場合にアラートが生成されません。

説明

複数の管理ノードがあり、その中の特定の管理ノードから長時間アラートが生成されていないという シナリオを想定します。これは、エージェントノード上で何らかの問題が発生しているか、または 管理ノード上ですべてのアプリケーションが正常に稼動していて HP Operations Agent に対してア ラート メッセージを生成するようなイベントが発生しないことが原因として考えられます。

前提条件

指定した管理ノード上で HP Operations Agent のヘルス監視を有効にする必要があり、またこのノードは Health View サーバーを使用して設定する必要があります。

標準的な流れ

- 1. HP Operations Agent Health View サーバー を開きます。
- 2. **[注意域]** をクリックして、1 つまたは複数のパラメータが失敗したエージェント ノードのリスト を表示します。



 特定のノードの[ヘルス] に、「opcmona には注意が必要です」と表示されます。[ホスト名] を クリックすると、指定した管理ノードのノード ビューが開きます。



4. 指定したノード ビューで **[失敗したプロセス]** をチェックします。opcmona プロセスが問題に関 する簡単な説明と共に一覧されます。

HP OPERATIONS AGENT HEALTH VIEW					0
リソース使用率(%)					v
	■合計 CPU 使用率 ■ OA CPU 使用率	失敗したプロセス エージェント状況データの最終収集時刻: 0ct 8, 2015 4:49:27 PM 🏮			۹
100.0		1899	名前	プロセス状態	時刻
50.0		agtrepは '停止' 状態です。	agtrep	🛕 停止	No Data
25.0		hpsensor l a '停止' 状態です。	hpsensor	🛕 停止	No Data
0.0		oacore は '停止' 状態です。	oacore	🛕 停止	No Data
	■合計メモリ使用率	ompolparm1は '停止' 状態です。	ompolparm	🛕 停止	No Data
100.0	■ OA メモリ使用率	opcecalま '停止' 状態です。	opceca	🛕 停止	No Data
75.0		'midaemon'のブロセス ID が変更されました。	midaemon	🛕 Running	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
50.0		ttd lま 'Stopped' 状態です。	ttd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
0.0		perfdla "Stopped" 状態です。 失敗した状況パラメータ:Client_Connection	n. perfd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
	_				
		実行中のプロセス			م
Operations Agent (OA) のパージョン	12.00.078	カセス 指定したノードのヘル	ス全体を確認しま	ます。 <sup>使用率</sup>	
ブライマリ マネージャ	iwfvm05602.hpswlabs.hp.com	48700 牛肉したプロセスオ	が 問題について	ກ ກ	~
ライセンス情報 OA PA RTMA		46483 概要と共に-	一 一 一 一 一 、 、 の 加 に し い し の 、 の 加 に し い し の 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の		×
		13305	JEC 100 7 0		×

5. 【プロセス名】をクリックすると、プロセス ビューが開きます。

HP OPERATIONS AGENT HEALTH VIEW						
100.0 100.0 100.0 100.0 50.0 100.0 5	■合計 cou 使用率 ■ Cot CPU 使用平 ■ Cot VCU 使用平 ■ Cot VCU 使用率 ■ Cot VCU 使用率	失敗したプロセス エージェント状況テータの最結 agtrep は '停止' 状態です。 hpsensor は '停止' 状態です。 oncore は '停止' 状態です。 opceca は '停止' 状態です。 'midaemon' のプロセス IDが ttd は "Stopped' 状態です。	e夜集時刻: 0ct 8, 2015 4:49-27 。 す。 夏夏 1 つ以上	PPN ● 名前 3gtrep か プロセス名をクリックする のパラメータが失敗した プロセスビューが開きま	プロセス状態 ▲ 停止 ▲ 停止 ▲ 停止 シート をと、 こプロセスの ます。	No Data           No Data           No Data           No Data           No Data           Oct 8, 2015 2:19:27 PM           Oct 8, 2015 2:19:27 PM
0.0		perfdia 'Stopped' 状態です。	, 失敗した状況パラメータ :Clier	nt_Connection. perfd	A Stopped	Oct 8, 2015 2:19:27 PM
Instations Asset (OA) (D ) (5 - 2 (-2 ))	12 00 070	実行中のブロセス				
perations Agent (DA) (D/N - 232	12.00.078	プロセス 10 💠	プロセス名 🔅	% 合計 CPU 使用率 🔹	% 合計メモリ使用率	<ul> <li>使用率</li> </ul>
<sup>1</sup> ライマリマネ <i>ージャ</i>	iwfvm05602.hpswlabs.hp.com	48700	hpsensor	3.5	0.5	×
イセンス情報	OA PA RTMA	46483	ovcd	0.2	0.3	×
		13305	perfalarm	0	0.1	×

6. **[状況パラメータ]**の詳細をチェックします。プロセスがデータを収集できないソース (ポリシー に従って) に対応する状況パラメータには、ステータスが「失敗」として表示されます。 たとえ ば、状況パラメータ SNMP GET のステータスが「失敗」として表示されます。

				<b>は</b> プロ:	セス開始時刻	22/10/2015 2	0:26:17 (
状況パラメータ エージェント 状況データの最	終収集時刻: Oct 26, 2015 3:55:(	06 PM 🕚	ポリシー パラメータ [ エージェント 状況データの 最	終収集時刻: 0c	t 26, 2015 3:55:	D6 PM ] 🔹	
名前	ステータス/カウント	最終更新時刻	ポリシー名	ポリシータイ ブ	ポリシーの状 態	ポリシー間隔	最終実行 刻
ポリシーの 初期化	×	Oct 22, 2015 8:26:17 PM	opcmsg(1 3)	opcmsgi	🗸 active	N/A	Oct 25, 201
SNMP GET	8	Oct 25, 2015 6:20:22 PM					6:20:22 PM
SNMP GET		Oct 25, 2015 6:20:22 PM	HC:Msg_1	opcmsgi	✓ active	N/A	6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM
SNMP GET リソース使用率 メトリック名		Oct 25, 2015 6:20:22 PM Q 単位	HC:Msg_1 ESF:Application_Command	opcmsgi opcmsgi	<ul><li>✓ active</li><li>✓ active</li></ul>	N/A N/A	6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM
SNMP GET リソース使用率 メトリック名 User Nat [SNMP G] 表示		0ct 25, 2015 6:20:22 PM 単位 :取Jステータスとして メーターマオオス	HC:Msg_1 ESF:Application_Command	opcmsgi opcmsgi 1 時間	<ul> <li>✓ active</li> <li>✓ active</li> </ul>	N/A N/A	6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM
SNMP GET リンース使用率 メトリック名 User Nat Thread ( このいり	C (値) ET] 状況パラメータが「失 されています。状況パラメ 最終更新時刻も表示で	0ct 25, 2015 6:20:22 PM 単位 :敗」ステータスとして メータに対する :きます。	HC:Msg_1 ESF:Application_Command イベント(過去3日) タイムスタンプキ 重要度	opcmsgi opcmsgi 1時指 令		N/A N/A	6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM Oct 25, 201 6:20:22 PM

7. マウスのポインタを[状況パラメータ]に移動すると、パラメータの説明が表示されます。

- <b>\</b> ~	HP OPERATIONS AGEN	NT HEALTH VIEW		?
ダッシ	ュポード > iwfvm0560	2.hpswlabs.hp.com > perfd		
			🖕 ブロセス開始時刻	C
	状況バラメータ エージェント 状況データの最	長終収集時刻: Oct 8, 2015 4:54:27 PM <b>€</b>	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	Q
	名前	ステータス/カウント	状況パラメータにマウスのポインタを置くと、 説明	\$
	ライセンスのチェック	×	Oct パラメータの説明が表示されます。 エントログにはプロセスのイベントはありません。	
	クライアント 接続	0	Det 8. 200 to FM	
	リソース使用率	このパラメータは、cpshの perfd への 接続を示します。	Q	
	水リック名	të të	単位	

8. **[状況パラメータ]**をクリックすると、診断コマンドが実行されたかどうかが表示され、実行された場合は、修復アクションを実行するためのヒントが表示されます。

- <b>/</b> ~	HP OPERATIONS AGEN	T HEALTH VIEW			2
ダッシ	ュボード > IWFVM0131	2.hpswlabs.adapps.hp.com	> opcmsgi		
				🖕 プロセス開始時刻 22/10/2015 20:26:17 🕃	
	状況パラメータ エージェント状況データの最	終収集時刻: Oct 26, 2015 3:55:0	6 PM 🟮	ポリシー パラメータ [エージェント状況データの最終収集時刻: Oct 26, 2015 3:55:06 PM ] 3	
	名前	ステータス/カウント	最終更新時刻	ポリシー名 ポリシータイ ポリシーの状 ポリシー問題 最終実行時 ブ 態 刻	
	ポリシーの 初期化	✓	Oct 22, 2015 8:26:17 PM	opcmsg(1 3) opcmsgi 🗸 active N/A Oct 25, 2015	
	SNMP GET Oct 25, 2015 6:20:22 PM		Oct 25, 2015 6:20:22 PM	5-20:22 PM 状況パラメータをクリックすると、 実行された診断コマンドが(もし存在すれば)表示され、 考えられる修正アクションが確認できます。	
	snmpdサービスが実行され 実行されていない場合は、	ているかどうかを確認します。 snmpd サービスを開始します。		ESF:Application_Command opcmsgi 🖌 active N/A Oct 25, 2015 6:20:22 PM	
l				111日 3日 Q	
	リソース使用率		م	タイムスタンブ ≑ 重要度 ≑ 説明 ≑	
	メトリック名	値	単位	1 エージェント ログには プロセスのイベントはありません。	

### 結論

HP Operations Agent の **opcmona** プロセスは、状況パラメータ **SNMP GET** が失敗したために SNMP MIB 情報を取得できません。そのため、管理ノードからアラートが生成されません。

## 第7章:トラブルシューティング

ここでは、ヘルスビューの設定時またはヘルスビューへのアクセス時に検出された問題のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

**注**: どのような問題が発生しても、エージェントノード上で実行されているプロセスに対して XPLトレースを使用して、hpsensor プロセス (エージェントノード上で hpcs.conf ファイルを使用)とhpcsrvd プロセス (サーバー上で hpcsrv.conf ファイルを使用)のデバッグモードを有効にし、トラブルシューティングを行うためにログファイル内のエラーをチェックします。

デバッグモードを有効にするには、hpcs.trace名前空間の下の次の値を編集します。

以下を使用してデバッグレベル値を変更します。Debug\_Level=DEBUG.

### 問題: HP Operations Agent Health View サーバー上にノードが表示されません。

対策: この問題を解決するには、以下を確認します。

- 1. ノードにログオンして、hpcstrace.log ファイル内のエラーを確認します。ログファイルは、以下の場所 に存在します。
  - Windows の場合:%OvDataDir%hpcs\hpcstrace.log
  - UNIX/Linux の場合:/var/opt/OV/hpcs/hpcstrace.log

HBP プッシュ、証明書の問題、または http/https モードに関連するエラーすべてを確認し、解決します。

2. ノードとHealth View サーバー間の通信が成功しているかどうかを確認します。

以下の手順に従ってください。

a. 管理者として、Health View サーバーにログオンします。 次のコマンドを実行します。

bbcutil -ping <node\_ip\_address>

b. 管理者としてノードにログオンします。

次のコマンドを実行します。

bbcutil -ping <server\_ip\_address>

注:通信を成功させるために、サーバーとノードの間に信頼関係を確立する必要がありま す。Health View サーバーとノード上に必ず同じ認証局からの証明書をインストールしま す。証明書が異なる証明機関からのものである場合は、CA 証明書を交換し、それらを ノードと信頼されたキーストアにインポートします。詳細については、『HP Operations Manager インストールガイド Linux 向け』の「2 つの管理サーバー間でのトラスト関係の確 立」、または HP Operations Manager for Windows オンライン ヘルプの「複数の管理サー バーに対する信頼済み証明書の設定」を参照してください。

3. ノード上で hpsensor を再起動します。詳細については、hpsensor を再起動するコマンドの説明を 参照してください。 **注**: HP Operations Agent ヘルスを備えたノードを設定した後、設定したノードが5分後に Health View サーバー上に表示されます。

問題: エージェント ノードを HP Operations Agent 12.00 にアップグレードした場合に、実行中のプ ロセスをドリルダウンしてもプロセスが表示されません。

対策: この問題が発生しないように解決するには、以下の手順に従います。

- 1. 管理者としてノードにログオンします。
- 以下の場所からparm ファイルを開きます。
   Windowsの場合:%0vDataDir%parm.mwc
   UNIX/Linuxの場合:/var/opt/perf/parm
- 3. parm ファイルで次のテキストを確認します。

application = OperationsAgent

file = ovcd, ovbbccb, ovconfd, ovbbcrcp, ovcodautil, extract, utility

file = opcgeni, ompolparm, opceca, opcecaas, agtrep, dsilog, perfalarm

file = opcmona, opcmsga, opcmsgi, opcacta, opcle, opcwbemi, opctrapi

file = oacore, midaemon, ttd, perfd, hpsensor, glance, xglance

file = AHSCollector, opcconfigfile, xglance-bin

 4. 上記のテキストまたはその一部が parm ファイルに存在しない場合は、上記のテキストを parm ファイルに追加します。手動で parm ファイルを更新する場合は、ノード上で hpsensor を再起 動します。詳細については、hpsensor を再起動するコマンドの説明を参照してください。

#### 問題: ノード上でデータ収集が実行されません。

対策: この問題を解決するには、以下の手順に従います。

- 次のコマンドを実行して、opcactaのステータスを確認します。
   <ovBinDir>ovc -status
- opcacta が実行されていない場合は、次のコマンドを実行して opcacta を再起動します。
   <ovBinDir>ovc -restart opcacta

opcacta が実行されている場合は、AHSCollector (エージェント ヘルスおよびシステム データ コレク タ) に対して XPL トレースを有効にします。

## 問題:過去 3 回の間隔の間、このノードからデータを受信していません (または HBP が欠落しているか、データが不足しています)。

対策:この問題は、過去3回以上の間隔の間に、hpcsrvdがHBPを受信していなかったことが原因で発生します。この問題を解決するには、以下を確認します。

- ovbbccb が到達可能であるかどうかを確認
- ノードとサーバー間の通信が成功しているかどうかを確認します。
   サーバーからノードに対して ping を実行するには、以下のコマンドを実行します。

bbcutil -ping <node\_ip\_address>

上記の手順が失敗した場合、以下のコマンドを使用してノードが到達可能であるかどうかを確認します。

ping <ノードの IP アドレス>

- hpsensor プロセスが実行中であることを確認します。
  - a. 以下のコマンドを実行して、ノード上の hpsensor のステータスを確認します。
    - <OvBinDir>ovc -status

hpsensor が実行されていない場合は、以下のコマンドを実行して、hpsensor を再起動します。

<OvBinDir>ovc -restart hpsensor

- b. 詳細情報を取得するには、ノード上の hpcstrace.log ファイルを確認します。このログファイ ルは、以下の場所に存在します。
  - Windows の場合: %OvDataDir%hpcs\hpcstrace.log
  - 。 UNIX/Linux の場合: /var/opt/OV/hpcs/hpcstrace.log
- ノード上の証明書を確認

ノード上の証明書に問題があったり、証明書がインストールされていない場合があります。以下 のコマンドを使用して、ノード上の証明書を確認します。

```
ovcert -list
```

ovcert -check

### 問題: 削除したエージェント ノードが Health View サーバー上に表示されます。

**対策:** エージェント ノードを削除しても、そのエージェント ノードのエントリは 24 時間 Health View サーバーに存在します。

#### 問題: 複製エージェント ノードが Health View サーバーに表示されます。

対策: エージェント ノードを削除して再インストールすると、そのエージェント ノードは 24 時間 Health View サーバー上に存在します。「データなし」と表示されたエントリは無視してもかまいま せん。同じホスト名を持つ異なる 2 つのノードが Health View サーバー上に表示された場合は、ノー ドを区別するためにエージェント ノードの Core\_ID を確認します。ダッシュボード ビュー内のノー ド名にマウスのポインタを移動して、エージェント ノードの Core\_ID を確認します。

### 問題: Internet Explorer で Health View UI のロケールが変更されません。

対策: この問題を解決するには、以下の手順に従います。

- 1. ブラウザ上ですべてのタブを閉じます。
- 2. 再度ブラウザを開きます。
- 3. HP Operations Agent Health View サーバーを開きます。

問題: HPOM 管理サーバー以外の Health View サーバー上でエージェント ヘルス監視を使用して設定 した Windows ノードでヘルス データを利用できません。

原因: これは、インストール後にライセンスを設定した場合に発生する場合があります。

対策: この問題を解決するには、Windows ノード上で手動で opcacta を起動します。以下のコマンド を実行して、opcacta を起動します。

<OvBinDir>ovc -start opcacta

### 問題: データ収集が実行されない場合に、更新されたエージェント ヘルス データを Health View サーバー上で使用できません。

**原因:** これは、アクション エージェント (**opcacta**) のステータスが Stopped (停止) または Aborted (中止) 状態であるために、発生する場合があります。プロセス **opcacta** が Stopped (停止) または Aborted (中止) 状態であると、プロセスの状態変更情報は 3 回の HBP 間隔後のみに Health View サーバー上で更新されます。

対策: この問題を解決するには、ノード上で opcacta を再起動します。以下のコマンドを実行して、 opcacta を再起動します。

<OvBinDir>ovc -restart opcacta

問題:同じイベントに対して複数のアラート メッセージを取得します。

**原因:** これは、ノード上に **Selfmon Policies** が配布されていて、ノードを HP Operations Agent 12.00 にアップグレードした場合に、発生することがあります。

対策: この問題を解決するには、ノード上に配布されている Selfmon Policies の HPOM 管理サーバー から割り当て解除を行います。詳細については、『HP Operations Manager システム管理リファレン スガイド Linux オペレーティング システム向け』の「ポリシーの削除」、または HP Operations Manager for Windows オンライン ヘルプの「ノードからポリシーを削除」を参照してください。

## 第8章: HP Operations Agent Health View のパ フォーマンスとサイズの設定

ここでは、HP Operations Agent Health View を使用するためのテスト セットアップ情報と推奨事項に ついて説明します。

注:パフォーマンスは、テスト環境およびテストセットアップによって変わります。

### テスト環境

次のテスト セットアップを使用してテストを実行します。

サーバー	オペレー ティング シ ステム	アーキテク チャ	ハードウェ ア (物理/VM)	システム構 成	CPU クロッ ク速度
HP Operations Manager 9.20 ローカルエージェン ト: HP Operations Agent 12.00	Linux	x64	VM	6 CPU 6 GB RAM	2.67 GHz

### 推奨事項

テスト結果とパフォーマンスの観察に基づいた、HP Operations Agent Health View の使用に関する以下の推奨事項があります。

	システム構成	サーバー側の設定				
	ulimit -n	/var/opt/OV/shared/server/hpcsrv/hpcsrv.conf				
エージェント ノード数	オープン ファイル 記述子	UpdateInterval	connection_ backlog	num_threads		
2500	3000	60	512	20		
5000	6000	60	512	30		
7500	8000	60	512	40		
10000	11000	120	1024	40		



次のグラフを参照して、HP Operations Agent Health View のパフォーマンスを表示および分析してく ださい。





### 結論

ノードのインスタンス数を増やす場合は、CPU 使用率を最適化するために UpdateInterval 時間を増や すことをお勧めします。UpdateInterval のデフォルト値は 60 秒です。

UpdateInterval 時間を増やすと、Health View サーバーがノード状態の変更を反映するためにかかる時間も増えます。

たとえば、CPU 使用率にとっては UpdateInterval を 300 秒のまま維持することが最適ですが、300 秒 以上を経過すると Health View サーバーはエージェント ノード上に発見した問題を更新します。 これを避けるために、最適なノードインスタンス数を持つ環境に複数の Health View サーバーを設定 することができます。

## ドキュメントのフィードバックを送 信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご 連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリック することで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on ユーザー ガイド: Health View (Operations Agent 12.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの 新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。